

アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類の防除に

ハウス害虫防除の新戦略

●特長

- 1.アブラムシ類・アザミウマ類・コナジラミ類等の難防除害虫に優れた効果があります。
- 2.ネオニコチノイド系殺虫剤なので、有機リン剤・カーバメイト剤・合成ピレスロイド剤などに効きにくくなった害虫にもよく効きます。
- 3.ハウス内の湿度を高めず、作物への汚れが少なく、果菜類には収穫前日まで使用できます。



ミツバチに影響の少ない薬剤です。
(処理翌日の夕方以降に放虫可能)



くん煙殺虫剤



モスピラン® ジェット

●適用害虫と使用方法

*印は、収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と本剤およびアセタミプリドを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数*	
					本剤	アセタミプリド
いちご	温室 ビニール ハウスなど 密閉できる 場所	アブラムシ類 アザミウマ類	くん煙室容積 400m ³ (床面積 200m ² × 高さ2m) 当たり 50g	前日	2回	3回 (粒剤の株元散布及び土壌湿和は合計1回、 散布及びくん煙は合計2回)
トマト ミニトマト		コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ コナジラミ類			4回 (粒剤の定植時までの処理は1回、 散布くん煙及び定植後の株元散布は合計3回)	
きゅうり		アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ			5回 (2%粒剤の定植時の株元散布は1回、 2%粒剤の定植後の株元散布は1回、 散布、くん煙及び1%粒剤の株元散布は合計3回)	
すいか					4回 (定植時の土壌湿和は1回、 散布くん煙及び定植後の株元散布は合計3回)	
なす		アブラムシ類 アザミウマ類			4回 (粒剤の定植時までの処理は1回、 散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回)	
メロン					3回	
ピーマン		アブラムシ類			2回	3回 (粒剤の定植時までの処理は1回、 散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計2回)
みょうが(花穂)					3回	3回
みょうが(莖葉)		3回			3回	
ズッキーニ ズッキーニ(花)		前日			2回	2回
アスパラガス		14日			3回	3回
ぶどう		3日			3回	3回
みかん		7日			2回	2回
アセロラ		発生初期			5回	5回
花き類・観葉植物 (トルコギキョウを除く)		アブラムシ類				
トルコギキョウ	ミカンキイロアザミウマ					

使い方：くん煙(ただし、みょうが(花穂)の場合、花穂の発生期には花穂をマルチフィルム被覆した状態で使用する。)

- ▲注意 ●ビニールなど被覆材と錠剤は、60cm以上離してください。●点火紙を薬剤の上に載せて点火すると、炎が出るのでご注意ください。
●くん煙剤はハウス容積を正しく測り、適切な薬量を使用してください。



モスピランジェットの使い方

1.くん煙の手順

①ハウスの密閉

くん煙を始める前に防除する室の戸や窓を閉め、密閉する。

②薬剤の配置

室の容積によって使用薬量を決め、煙が均一に拡散するよう薬剤を配置する。その際、周辺の可燃物を取り除いておく。くん煙する場合は、添付のつり具または所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙する。つり具および電気式点火・くん煙装置は栽培作物の高さでつり下げるか、または不燃性の台などの上ののせて使用する。なお、植物体・可燃物から離れた中央の安全な場所に設置する。特にビニールなどの被覆材とは60cm以上離れた位置で使用する。

③点火・退室 点火は以下の通りに行なう。

①点火紙を用いる場合

同封の点火紙をつり具の所定の位置に正しく設置し、その上に薬剤をのせてから点火紙に点火する。**点火紙を薬剤の上ののせて点火すると炎が出るのでさける。発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消す。**点火後発煙を確認したら、くん煙室の外に出てそのまま放置する。

②電気式点火・くん煙装置を用いる場合

装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認のうえ、薬剤を所定の位置に正しく設置した後に通電する。点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置する。万一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置する。

③点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らない。

④くん煙

くん煙は、夕方から始め、翌朝までとする。**くん煙中は、絶対にハウス内へ入らない。**

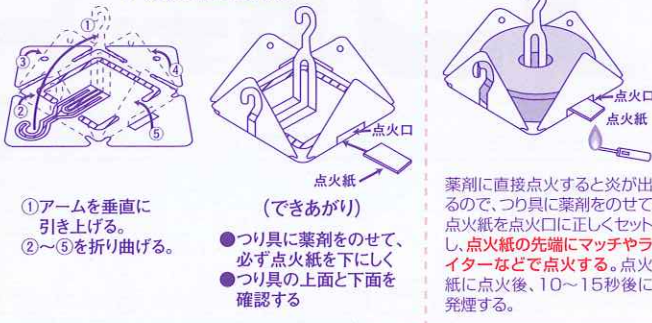
⑤ハウスの開放

翌朝、ハウス内の温度が上がる前に開放し、十分に換気した後に入室する。**(特に、ハウス内が乾燥している時は煙が翌朝まで残る場合があるので、十分に注意する。)**

2.点火方法

付属のつり具を使い、つり下げて使用する場合

つり具の組み立て方



- ①アームを垂直に引き上げる。
- ②～⑤を折り曲げる。

- つり具に薬剤をのせて、必ず点火紙を下にしく
- つり具の上面と下面を確認する

薬剤に直接点火すると炎が出るので、つり具に薬剤をのせて、点火紙を点火口に正しくセットし、点火紙の先端にマッチやライターなどで点火する。点火紙に点火後、10～15秒後に発煙する。

つり具はケースの中に、点火紙は箱の中に入っています。

使用薬量の決め方

ハウスの面積	200m ²	400m ²	600m ²	800m ²	1,000m ²
平均高さ2mとして	(約61坪)	(約122坪)	(約182坪)	(約243坪)	(約303坪)
使用量	1 錠	2 錠	3 錠	4 錠	5 錠

⚠️ 注意事項

- 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果が出にくいので、使用しないでください。
- 定植直後または幼苗・軟弱徒長苗には、薬害を生ずるおそれがあるので、使用はさけてください。
- 高温時のくん煙は薬害を生ずるおそれがあるので、日中のくん煙はさけ、夕方からくん煙し、翌朝開放してください。
- 畜に長期間毒性があるので、付近に菜園のある所では使用しないでください。
- 医薬外用劇物です。取り扱いには十分注意してください。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受けてください。

- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 点火などの作業の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- くん煙中はハウス内に入らないでください。また、くん煙終了後はハウスを開放し、十分に換気した後に入室してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。

● ラベルの記載以外には使用しないでください。

● 小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2012年6月現在の登録内容に基づいています。



日本曹達株式会社

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
 ☎(03)3245-6178 FAX(03)3245-6084
 ホームページアドレス <http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>
 大阪支店 ☎(06)6229-7343 東京営業所 ☎(03)3279-6961
 札幌営業所 ☎(011)241-5581 名古屋営業所 ☎(052)238-0003
 仙台営業所 ☎(022)227-1741 福岡営業所 ☎(092)771-1336
 信越営業所 ☎(0255)81-2323 松山営業所 ☎(089)931-7315